

資料編

- ・ 「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」実施要項
- ・ 調査票
 - 卒業生アンケート
 - 中退者アンケート
 - 生徒変容アンケート
 - 教員・保護者の意識変容アンケート
- ・ 推進校の補足資料
 - 「浜北西高方式キャリア教育計画の概要」
 - 県立湖西高等学校「総合的な学習の時間」年間計画
- ・ 連絡協議会委員名簿
- ・ 参考文献

高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究実施要項

平成19年4月2日
初等中等教育局長決定

平成20年4月1日
一部改訂

平成21年4月1日
一部改訂

1 趣 旨

近年、若者が職業について考えたり選択・決定を先送りする傾向、いわゆるモラトリアム傾向や進路意識や目的意識が希薄なまま進学や就職する者の増加が指摘されている。特に、この傾向は、高等学校の普通科において強いのではないかと指摘がある。

また、若者自立・挑戦戦略会議の総合人材育成施策をはじめとして、各種会議・提言等において、キャリア教育の推進が重要である等と盛り込まれているところである。

このため、高等学校、特に普通科高校におけるキャリア教育を充実するため、①高等学校におけるキャリア教育、②高等学校卒業生及び中退者への各支援の在り方について検討すること、などを調査研究課題とした事業を実施する。

2 実施方法

(1) 推進校の指定

- ① 文部科学省は、高等学校におけるキャリア教育の在り方についての検討を行うため、都道府県教育委員会からの申請に基づき、推進校を指定する。
- ② 申請に当たっては、都道府県教育委員会は、地域における高等学校から4校程度選定するものとする。ただし、指定都市の存する都道府県及び域内の高等学校数が100校を越す場合においては、この限りではない。なお、指定都市教育委員会及び市町村教育委員会が設置する高等学校の申請については、都道府県教育委員会と連絡・調整し、都道府県教育委員会が別紙1により実施計画書を文部科学省に提出するものとする。
- ③ 推進校と後述する研究組織は、密に連携を図ることにより効果的かつ効率的な事業の実施に努めることとする。

(2) 事業の推進体制の整備

都道府県教育委員会は、高等学校中途退学者及び進学・就職等卒業生の動向把握の方法及びその要因・背景を分析するとともに、効果的かつ効率的な推進校の取組を支援、助言、評価するための調査研究組織（以下「研究組織」という。）を設ける。

構成員は、有識者、推進校関係者、商工会議所等関係者、PTA関係者、労働局・ハローワーク及び経済産業局等関係行政機関等の関係者で構成し、事業の企画・立案、地域における推進体制の在り方について、助言、情報交換等を行うものとする。

(3) 研究課題及び研究内容

I 推進校においては、原則として、以下の①～②を研究課題に設定するものとする。

- ① キャリア教育の在り方に関する効果的な指導内容・指導方法の充実・改善について（例）
 - ・ 生徒の発達段階に応じたキャリア発達の充実・改善を促すため、小・中学校、大学等と連携・協力した指導内容・指導方法の充実、評価の検討
 - ・ 研究組織との協力の下、卒業後・中退後の動向把握の方法、その要因・背景を分析し高等学校におけるキャリア教育の在り方の改善に活かす
 - ・ インターンシップ等体験活動の効果の検証、単位認定の促進
- ② 産業や雇用等の現状を理解し、就職・進学等の進路を選択、決定させる能力を身に付

けさせるため、その活動を補助する外部の専門的な人材（キャリアカウンセラー等）の配置及びその活用の在り方について

（例）

- ・ 推進校における配置方法、活用方法の在り方（配置・活用する際の場（職員室と同室、別室）の検討等）
 - ・ 生徒、教職員や保護者等に対する外部の専門的な人材の活用の在り方
 - ・ 教職員と外部の専門的な人材との情報共有・連携の在り方
 - ・ 推進校における人材確保に当たり、関係行政機関、地域若者サポートステーション、NPO等との連携方策
- ##### II 研究組織においては、原則として、以下の①～②を研究課題に設定するものとする。

- ① 学校・産業界・関係行政機関、地域若者サポートステーション等による中退後、卒業後の進路、就職等の動向把握及びその要因・背景を分析し、キャリア教育の充実・改善に活かすためのシステムづくりについて（例）
 - ・ インターンシップの内容の検討など、職業に関する体験的活動を効果的に推進するため、学校と受入事業所、地元経済団体等との連携・協力体制の構築、学校間の調整
 - ・ インターンシップ等の受入れ先の確保と効果的な活動の方策の検討
 - ② キャリア教育の意義・必要性についての保護者・事業所等への効果的な啓発の在り方について
 - ・ 広報・啓発の在り方
 - ・ 中退後・卒業後の動向把握の検討、高等学校への効果的な反映の在り方
- #### (4) キャリア教育連絡協議会の開催
- 各地域における本事業の円滑な実施を図るとともに、キャリア教育に対する地域の理解と協力を得るため、キャリア教育連絡協議会を全国10地域において開催し、研究協議・情報交換等を行うものとする。
- ### 3 委嘱期間
- 都道府県等の教育委員会に対する事業の委嘱は指定の日から当該年度の末日までとする。ただし、事業の実績、予算の状況等を勘案し、適当と認めるときは、1回に限りこれを更新することができる。
- ### 4 計画書の提出
- 指定を受けた都道府県等の教育委員会は、年度当初に、別紙1に定める事業実施計画書及び別紙2に定める事業予算書を文部科学省初等中等教育局児童生徒課長あてに提出するものとする。
- ### 5 報告書の提出
- 指定を受けた都道府県等の教育委員会は、年度終了後すみやかに、事業実施報告書を別に定める様式により文部科学省初等中等教育局児童生徒課長あてに提出する。
- ### 6 経 費
- (1) 文部科学省は、予算の範囲内で調査研究に要する経費を支出する。
 - (2) 上記については、都道府県が行う国の会計事務として支出する経費である。
- ### 7 その他
- (1) 文部科学省は必要に応じ、調査研究事業の実施状況及び経理処理状況について実態調査を行う。
 - (2) 文部科学省は、委嘱を受けた都道府県等の教育委員会における調査研究事業の実施が、当該委嘱の趣旨に反すると認めるときは、必要な是正措置を講ずるよう求める。
 - (3) この実施要項で定めるもののほか本事業実施に必要な事項については別に定める。

<調査票：卒業生アンケート>

平成20年度「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」事業 卒業生用アンケート質問用紙

※ 該当する数字や記号に○を付けてください。自由記述欄は、適宜御記入ください。記入が終わりましたら、この用紙を返信してください。

1 アンケートI (現況調査等)

- (1) 卒業年を教えてください。 → 平成 (18・19・20) 年 3月卒業
- (2) 性別を教えてください。 → 男 ・ 女
- (3) 高等学校卒業直後の進路区分を1つ選んでください。ただし、就職進学の場合は「セ」を選択し、その概況を記入してください。
ア 四年制大学 イ 短期大学 ウ 専修学校等 (専門学校・各種学校)
エ その他の学校 (大学校、大学別科、職業訓練校等)
オ 予備校 (自宅での進学準備は除く) カ 民間企業就職 キ 公務員
ク 自営・家業 (家事手伝いは除く) ケ パート・アルバイト
コ 自宅での進学準備
サ 留学準備 シ 家事手伝い ス 病気・ケガ療養
セ その他 ()
- (4) 高等学校卒業直後の進路先と、現在の進路先は変わりましたか。1つ選んでください。
ア 同じ (変更予定なし) イ 同じだが、変更を検討 ウ 変わっている
- (5) (4)で「ウ 変わっている」とお答えになった方にお尋ねします。該当する回数を1つ選んでください。
ア 1回変わった イ 2回変わった ウ 3回以上変わった
- (6) (4)で「イ」または「ウ」と答えた理由は何ですか。(複数回答可)
ア 進路先 (進学先、就職先等) が決まったため
イ 進学先の学校を卒業したため (短大、専修学校等を卒業して就職した等)
ウ 進学または就職内容が自分にあっていない
エ 人間関係に問題があった (上司、又は同僚等)
オ 経済的な理由 ()
カ 求人票に示された条件と違っていた ()
キ 事業所側の都合 ()
ク 準社員、契約社員、臨時社員等での採用により契約期間が切れた
ケ 健康的な理由
コ その他 ()

- (7) (4)で「ウ」と答えた方は、現在の進路区分を1つ選んでください。ただし、就職進学の場合は、「セ」を選択し、その概況を記入してください。
ア 四年制大学 イ 短期大学 ウ 専修学校等 (専門学校・各種学校)
エ その他の学校 (大学校、大学別科、職業訓練校等)
オ 予備校 (自宅での進学準備は除く) カ 民間企業就職 キ 公務員
ク 自営・家業 (家事手伝いは除く) ケ パート・アルバイト
コ 自宅での進学準備
サ 留学準備 シ 家事手伝い ス 病気・ケガ療養
セ その他 ()

- (8) 現在の進路先に対する満足度を1つ選んでください。また、どのような点でそのように思われますか。
ア 大変満足 イ 満足している ウ ふつう (どちらともいえない)
エ やや不満である オ 大変不満である カ その他 ()

--

- (9) 進学・就職等をして、高校時代とは変わった点や感じることを書いてください。
(例 身だしなみや目上の人に対する言葉遣い等々)

--

- (10) これから進路を決める後輩 (在学生) へのアドバイス等を書いてください。
(例 やっておいの方がよいこと、学校や企業の選び方等々)

--

- (11) 卒業生が後輩に対して支援できる方法として、何か良いアイデアがあったら書いてください。

--

- (12) 後輩への支援のため、在校生と語る会に参加する等、学校に協力することは可能ですか。1つ選んでください。

ア 協力してもよい イ どちらでもよい ウ 気が進まない (協力できない)

- (13) (12)で、協力していただける方で、もし差支えがなければ氏名や連絡先 (電話番号)、メールアドレス等を記入してください。(いただいた情報は、進路関係の連絡のみに使用し、取扱には十分注意します。)

氏名		連絡先	
E-mail		@	

2 アンケートⅡ (高等学校在学中の進路指導に関する調査)

(1) あなたが、高等学校在学中に受けた以下の①～⑭の進路指導について、どのような感想を持っていますか。ア～オの記号を1つ選んでください。

ア 大変役立った イ やや役に立った ウ あまり役に立たなかった
エ 役に立たなかった オ 実施していない

- | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| ① 進路選択の考え方や方法に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ② 進路に関する情報の入手方法とその利用の仕方 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ③ 希望する進路の実現性に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ④ 産業や職業の種類や内容に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑤ 自分の個性や適性の理解に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑥ 将来の生き方や人生設計に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑦ 社会人に必要なマナー等に関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑧ 経済の動きを理解する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑨ 仕事の中身を理解する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑩ 資格取得と職業のつながりに関する学習及び指導 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑪ インターンシップ (現場実習等も含む) | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑫ 上級学校や職場等の見学 (体験入学等も含む) | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑬ 上級学校の模擬授業、体験授業 | ア | イ | ウ | エ | オ |
| ⑭ 卒業生の体験を聴く学習 | ア | イ | ウ | エ | オ |

⑮ ①～⑭以外で、学習 (実施) した取組例があれば書いてください。

(2) (1)の中で、進路決定に特に役立った学習・活動を5つ以内で選んでください。
(数字を記入、5つなければあるだけで結構です。)

--	--	--	--	--

(3) 高等学校在学時の進路指導全般については、どのような感想を持っていますか。
1つ選んでください。また、その理由も簡単に書いてください。

ア 大変満足 イ 満足している ウ ふつう (どちらともいえない)
エ やや不満である オ 大変不満である カ その他 ()
(理由)

3 アンケートⅢ (高等学校進路指導への要望等)

(1) あなたが高等学校在学中に実施してほしい進路学習 (体験活動を含む) は何ですか。ア～エの記号を1つ選んでください。

ア 特にそう思う イ ややそう思う ウ あまり思わない エ 全く思わない

- | | | | | |
|------------------------|---|---|---|---|
| ① 将来のライフプランを考える学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ② 自分の個性や適性を考える学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ③ 進路選択の考え方や方法に関する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ④ 社会人に必要なモラルやマナーに関する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑤ 産業や職業の種類や内容に関する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑥ 経済の動きを理解する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑦ 仕事の中身を理解する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑧ 資格取得と職業のつながりを理解する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑨ 自分にあった職業の探し方に関する学習 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑩ 身近な人の仕事についてのインタビュー | ア | イ | ウ | エ |
| ⑪ インターンシップ (現場実習等も含む) | ア | イ | ウ | エ |
| ⑫ 職場等の見学 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑬ 卒業生の体験発表 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑭ 上級学校の体験入学 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑮ 社会人や職業人の講話・講演 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑯ 上級学校の見学や調査 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑰ 身近な産業や職業についての調査 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑱ 上級学校の先生の講話・講演 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑲ 高等学校の先生からの体験談 | ア | イ | ウ | エ |
| ⑳ その他 (自由記述) | | | | |

(2) あなたは、高等学校での進路指導をふり返ってみてどのような感想や意見をお持ちですか。自由にお書きください。

※ 以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

<調査票：中退者アンケート>

平成20年度「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」事業 アンケート質問用紙

※ 該当する数字や記号に○を付けてください。自由記述欄は、適宜御記入ください。記入が終わりましたら、この用紙を返信してください。

1 アンケートI（現況調査等）

- (1) 入学年を教えてください。 → 平成（ 15・16・17 ）年 4月入学
- (2) 性別を教えてください。 → 男 ・ 女
- (3) 高等学校以後の最初の進路区分を1つ選んでください。ただし、就職進学を兼ねている場合は「ケ」を選択し、その概況を記入してください。

ア 他の高等学校に編入学	イ 専修学校等（専門学校・各種学校）
ウ 民間企業就職（正社員）	エ 派遣会社（契約社員）
オ 自営・家業（家事手伝いは除	カ 家事手伝い
キ パート・アルバイト	ク 自宅で待機
ケ その他（	）

(4)～(6)は「卒業生用」と同じ。

(7) (4)で「ウ」と答えた方は、現在の進路区分を1つ選んでください。但し、就職進学の場合は、「セ」を選択し、その概況を記入してください。

ア 上級学校（四大、短大）	イ 専修学校等（専門学校・各種学校）
ウ その他の学校（大学校、職業訓練校等）	エ 他の高等学校に編入学
オ 民間企業就職（正社員）	カ 派遣会社（契約社員、準社員）
キ 公務員（自衛隊等も含む）	ク 自営・家業（家事手伝いは除く）
ケ 家事手伝い	コ パート・アルバイト
セ 自宅で待機	シ その他（
	）

*以下は「卒業生用」と同じ（1(11)は除外する）。

<調査票：平成21年度 生徒変容アンケート>

キャリア教育アンケート（3年生用）

1 進路決定について

(1) 進路希望先について調べ始めた（始める）のはいつ頃ですか、下から選んでください。

(2) 進路希望先を決定した（する）のはいつ頃ですか、下から選んでください。

ア 高校入学時点 イ 高校1年1学期 ウ 高校1年2学期

エ 高校1年3学期 オ 高校2年1学期 カ 高校2年2学期

キ 高校2年3学期 ク 高校3年1学期 ケ 高校3年2学期

コ 高校3年3学期

2 これまでの進路学習・進路指導について、以下の点でどう思いますか。当てはまるものを、次のア～オから記号で選んでください。

ア 当てはまる イ やや当てはまる ウ やや当てはまらない

エ 当てはまらない オ 実施していない

(1) 自分で進路を決めるようになった

(2) 進路に関してほしい情報は自分で手に入れるようになった

(3) 進路希望を実現するために真剣に考えるようになった

(4) 上級学校や職業に関する情報を授業やLHR・「総合的な学習の時間」などを通して得ることができた

(5) 自分の能力や適性について理解が深まった

(6) 将来の進路設計（進路実現や生き方、人生設計）について理解が深まった

(7) 将来社会に出たときに役立つのはどのような能力か理解できた

(8) 進路をとりまく社会の変化について理解が深まった

(9) 大学の学部・学科や職業の仕事の内容について研究した

(10) 職業・資格について理解が深まった

(11) インターンシップは進路設計に役立った

(12) 進路先訪問は進路設計に役立った

(13) 模擬授業や体験授業を通して大学などの学部・学科の内容について理解が深まった

(14) 卒業生・社会人による進路講演は進路設計に役立った

<* (1)～(14)は、「卒業生・中退者アンケートⅡ」に対応しています>

(15) 進路を深く意識することで、学習の動機付けになったり、学習意欲が向上したりした

(16) 日々の学習の必要性について理解が深まった

(17) クラスやグループの中で自分の力を発揮することの大切さを学んだ

(18) 進路をとりまく社会の変化について理解が深まった

(19) 先生に積極的に進路について相談した

(20) 進路相談では、進路についての悩みや不安が和らぐような相談をしてもらった

(21) 進路の情報を、体験を通して得られるような指導をしてくれた

3 次の学習や行事はあなたの進路設計に役立ちましたか。役だった活動を5つ選んでください。

*各校のキャリア教育の取組を並べる

4 次の進路学習の中で、実施してほしい進路学習は何ですか。ア～エの記号を1つ選んでください。

ア 特にそう思う イ ややそう思う ウ あまり思わない エ 全く思わない

① 将来のライフプランを考える学習 ア イ ウ エ

② 自分の個性や適性を考える学習 ア イ ウ エ

③ 進路選択の考え方や方法に関する学習 ア イ ウ エ

④ 社会人に必要なモラルやマナーに関する学習 ア イ ウ エ

⑤ 産業や職業の種類や内容に関する学習 ア イ ウ エ

⑥ 経済の動きを理解する学習 ア イ ウ エ

⑦ 仕事の中身を理解する学習 ア イ ウ エ

⑧ 資格取得と職業のつながりを理解する学習 ア イ ウ エ

⑨ 自分にあった職業の探し方を理解する学習 ア イ ウ エ

⑩ 身近な人の仕事についてのインタビュー ア イ ウ エ

⑪ インターンシップ（現場実習等も含む） ア イ ウ エ

⑫ 職場等の見学 ア イ ウ エ

⑬ 卒業生の体験発表 ア イ ウ エ

⑭ 上級学校の体験入学 ア イ ウ エ

⑮ 社会人や職業人の講話・講演 ア イ ウ エ

⑯ 上級学校の見学や調査 ア イ ウ エ

⑰ 身近な産業や職業についての調査 ア イ ウ エ

⑱ 上級学校の先生の講話・講演 ア イ ウ エ

⑲ 高等学校の先生からの体験談 ア イ ウ エ

⑳ その他（自由記述）

<* 4は、「卒業生・中退者アンケートⅢ」と同じものです>

<調査票：平成21年度 教員・保護者の意識変容アンケート>

キャリア教育アンケート（教員用）

*今年度の新任者は○をつけてください。（ ）

*指定研究でキャリア教育を推進するようになって、どのように意識をもつようになりましたか。下の各項目について、次のア～オから当てはまる記号を選び、空欄には自由にお書きください。

ア 当てはまる	イ やや当てはまる	ウ どちらともいえない
エ やや当てはまらない	オ 当てはまらない	

- (1) キャリア教育について、自分なりに理解できている
- (2) キャリア教育は全教員で行うものだという意識がある
- (3) キャリア教育は教科指導、特別活動など教育活動全体を通して行われるものだという考え方をもっている
- (4) キャリア教育は卒業後、中退後に役立つものだという意識で指導を行っている
- (5) 教員個々のキャリアガイダンス能力が必要だという意識がある
- (6) キャリアカウンセラーなどに外部人材を活用するのは効果があるという意識がある
- (7) キャリア教育の4領域能力が重要であると理解し、それを伸ばそうという意識で指導している
- (8) キャリア教育に関する行事や実践に積極的に取り組んでいる
- (9) 上級学校や職業に関する情報を授業やHR等に織り込んでできるだけたくさん発信しようとしている
- (10) キャリア教育に関する校内の職員研修会に積極的に参加している
- (11) 面談の方法や技術を身につける機会を生かして指導している
- (12) 経済・雇用情勢や求められる人材の変化などの情報を集めている
- (13) 3年間を見通した体系的な指導計画の中の1年という意識でキャリア教育の年間計画に基づいて、理解して進めている
- (14) 進路選択の際は、課題を明確にし、生徒が自分で決められるよう指導している
- (15) 生徒が集団生活で自分の役割を果たし、力が発揮できるよう指導している
- (16) 具体的な志望校選択の前に学部・学科・分野の内容研究を指導している
- (17) 将来社会に出たときに役立つのはどのような能力かを考えさせ、身につけるよう指導している
- (18) キャリア教育の取組の中で、効果の高かったと思われるものを選び、理由もお書きください・・・
- (19) キャリア教育の取組の中で、指導しにくかったものを選び、理由と改善策等もお書きください・・・
- (20) キャリア教育を推進しての感想をお書きください。

キャリア教育アンケート（保護者用）

- 1 学校の教育活動や子どもの様子から感じていることについて、次のア～オから記号でお答えください。

ア 当てはまる	イ やや当てはまる	ウ どちらともいえない
エ やや当てはまらない	オ 当てはまらない	

- (1) 学校の教育活動には関心がある
 - (2) 学校で行われる講演会や進路説明会などには積極的に参加している
 - (3) 子どもの進路について、時間をかけて子どもと話す機会を増やそうと思うようになった
 - (4) 進路先や職業の種類などの様々な情報を保護者自身も集めるようになった
 - (5) 本校で、（ ）という教育活動が行われていることを知っていた
 - (6) （ ）を体験して、子どもの進路意識が高まったと思う
- 3 進路学習・進路指導について、要望があればお書きください。

【推進校の補足資料】＜浜北西高方式キャリア教育計画の概要＞

1 浜北西高方式「キャリア教育」のめざすもの

(1)今、浜北西高生に必要とされる資質と能力

領域	8つの能力	重点	記号
人間関係形成能力	【 自他の理解能力 】		
	【 コミュニケーション能力 】	◎	C
情報活用能力	【 情報収集・探索能力 】	◎	R
	【 職業理解能力 】		
将来設計能力	【 役割把握・認識能力 】		
	【 計画実行能力 】	◎	P
意思決定能力	【 選択能力 】		
	【 課題解決能力 】	◎	S

※C: Communication R: Research P: Practice S: Solution

教員アンケート集計の結果から、生徒の補強すべき点として上の4項目(◎)が挙げられる。本校で実施する「キャリア教育」はこの4項目を重点的に身につけられるように事前指導・事後指導を計画する。

(2)能力開発のための具体的な方策

- ア【コミュニケーション能力】……他者の意見を聞き、自分の考えなどを表現できること。…《C》
 イ【情報収集・探索能力】自分の力で調べることができること。…《R》
 ウ【計画実行能力】……将来の設計・計画・立案ができること。…《P》
 エ【課題解決能力】……身の回りの問題を発見し解決策を考えることができること。《S》

2 浜北西高方式「キャリア教育」・学年別プログラム

学年	到達目標	記号	内容	利用方法	能力
1	自己を知る 仕事を知る	P1-1	スタディサポート(基礎力確認と学習状況調査)	面接	
		P1-2	S G Eを利用した自己紹介(自己開示)	自己他者理解	C
		P1-3	職業インタビュー(保護者等の職業調べ)	職業観の形成	C, R
		P1-4	介護保育実習	職業観の形成	C
		P1-5	職業講話	職業観の形成	C, R
		P1-6	キャリア・ガイダンスⅠ(進路別講座)	職業観の形成	R, P
2	自己の適性を知る 仕事を体験する 将来の学び	P2-1	進路先調査(四大・短大・専門・就職)	将来設計	R
		P2-2	職場体験	職業観の形成	C, P
		P2-3	大学見学会(保護者・生徒合同)	進路研究	R, P
		P2-4	就職希望者 職場見学会(ハローワーク主催)	進路研究	C, P
		P2-5	キャリア・ガイダンスⅡ(進路別講座)	進路研究	R
3	将来設計 進路決定	P3-1	未来予想図(卒業後の計画)	将来設計	P
		P3-2	進路別集会(進学・就職)・卒業生講話	進路研究	R
		P3-3	進学講演会	進路研究	R
		P3-4	進学先・就職先研究	進路研究	R, S
		P3-5	「オープンキャンパス」「体験入学」参加	進路研究	P, R
		P3-6	進路決定者スキルアップ講座(課題研究, パソコン講座)	将来設計	R, P

＜県立湖西高等学校「総合的な学習の時間」年間計画＞

平成20年度 1年生 総合実施計画

水曜日の5, 6限2時間連続で実施

実施日	L H R	総合
4.16	HR役員	パソコン・携帯実態調査、サイバー犯罪対策
4.23	地区別集会	情報モラル(学年集会でDVD)
5.7	学年集会	読んだ本のポップを作る
5.28	進路適性検査	避難降下訓練
6.11	読書感想文の説明、読書会	KJ法による職業興味探索
6.18	進路の手引き 要点の解説	進路の手引き 卒業生の言葉を読んで感想を書く
6.25	出会いに生き方を学ぶ① エッセイを読んで感想をまとめる	出会いに生き方を学ぶ① エッセイを読んで感想をまとめる
9.3	コース選択説明	職業インタビュー事後指導(各HR)
9.10	各HR(体育大会)	職業インタビュー事後指導(発表)
9.17	こころの講演会(水谷 修先生)	
9.24	各HR(ロールレタリング)	防災研修(起震車体験)
10.1	グループエンカウンター(傾聴のスキル)	
10.22	パターン1	パターン1
11.12	パターン2	パターン2
11.19	ケータイ依存症について	防火避難訓練
11.26	パターン3	パターン3
1.21	各HR	人生を考える(自分の生き方の原則)
1.28	各HR	対人関係を高めるスキル(アサーション)
2.4	読書会	愛知大学出張講座(海外研修報告会)
2.18	1年間のまとめ(アンケート記入)	進学講話(卒業生に依頼)
2.25	進路別ガイダンス	
3.18	インターンシップ発表会	

パターン1～3は、教材を全クラス同時展開はできないので、2クラスずつのローテで回す。

- I 出会いに生き方を学ぶ②・・・職業体験談の本を読み、感想をまとめる。
- II 小論文の書き方指導①②・・・身近なテーマについて、自分の意見をまとめる。
- III 企業インタビューの鑑賞・・・情報の活用についてインタビューしたDVDを鑑賞して感想をまとめる。
- IV ロールレタリング・・・手紙を送る相手を設定し、自由に書く。
数日後、相手の気持ちや立場を想像して、相手から自分への返信を書く。つまり、一人二役を演じて手紙を往復させる。

※ どれを実施するか、クラスで選択する。

平成20年度 2年生 総合実施計画

水曜日の5, 6限2時間連続で実施

実施日	L H R	総合
4.16	HR役員	身近な人への手紙(生き方・進路相談)
4.23	地区別集会	湖風祭(企画)・手紙清書
6.4	湖風祭準備(机移動)	湖風祭準備(飾り付け)
6.11	読書感想文の説明、読書会	HR読書会
6.18	小論文演習①	生すごろく、自分への手紙
6.25	HR読書会②	進路(特進のみ静大出張講義)
7.2	小論文演習②	修学旅行事前研修
9.3	学年集会	修学旅行事前研修
9.17	こころの講演会(水谷修先生)	
9.24	コース選択説明	防災研修(起震車体験)
10.1	修学旅行(折り鶴)	小論文演習③
10.8	修学旅行	小論文演習④
10.22	修学旅行	キャリア講習会(愛知大学)
10.29	エンカウンター(養護教諭遠藤)	エンカウンター(養護教諭遠藤)
11.12	修学旅行DVD	修学旅行DVD
11.19	小論文演習⑤	防火避難訓練
11.26	修学旅行(しおり読み合わせ)	修学旅行事前研修
12.3	小論文模試	各HR(期末テスト対策等)
1.14	情報モラル講習会	キャリアカウンセリング教員研修
1.28	進路別ガイダンスオリエンテーション	小論文演習⑥ 自己診断
2.4	就職—企業見学/進学—進路別ガイダンス(講話・分野別説明会)	
2.12	三年生による合格体験発表会	振り返りシート記入
2.18	卒業生による進路講話	各HR
2.25	進路別ガイダンス	
3.18	インターンシップ発表会	

平成21年度 1年生総合 実施計画

実施日	テーマ	総合の内容
4.15	宿泊研修	宿泊訓練の冊子作成・読み合わせ
4.22	キャリアデザイン	「自分を知る」(その1) ※高校生活の目標設定
5.13	キャリアデザイン	タイムマネジメント ※中間テストに向けて
5.27	文化祭の準備	湖風祭の展示準備・1年生企画準備
6.3	〃	湖風祭の展示準備・1年生企画準備
6.10	キャリアデザイン	「自分を知る」(その2) ※エゴグラム
6.17	進路指導	「進路の手引き」の解説
6.24	外部講師活用	食生活と健康(湖西市出前講座)
7.1	進路指導	KJ法による職業興味探索
7.15	進路指導	夏休み進路課題「職業インタビュー」の説明
9.2	夏期課題の発表	職業インタビューの発表(その1) ※グループ発表
9.9	夏期課題の発表	職業インタビューの発表(その2) ※クラス発表
9.23	こころの講演会	助産師 御宿みほ先生の講演会
9.30	進路指導	2年コース選択説明会
10.7	情報モラル	ケータイ依存について
10.21	キャリアデザイン	セルフ・エスティームを高める
10.28	社会福祉体験	社会福祉体験の事前学習(その1)
11.4	社会福祉体験	社会福祉体験の事前学習(その2)
11.18	キャリアデザイン	アサーション・トレーニング(その1)
12.2	キャリアデザイン	アサーション・トレーニング(その2)
1.13	キャリアデザイン	働くこととお金 (生活にかかるお金・アルバイトと正社員の違い)
1.20	キャリアデザイン	本田恵子先生の講演会
1.27	小論文指導	小論文講座 志望理由書の書き方
2.3	インターンシップ	インターンシップの全体説明(事前指導)
2.10	外部講師活用	社会の中で生きる テーマ:国際理解 ※外部講師を依頼
2.17	進路講話	進路講話(合格体験発表会)
2.24	進路講話	進路講話(就職・進学関連)
3.18	インターンシップ	インターンシップ発表会

平成21年度 2年生総合 実施計画

実施日	テーマ	総合の内容
4.15	情報モラル	ケータイのフィルタリングについて(DVDの視聴)
4.22	文化祭の展示	湖風祭HR展示の内容検討
5.13	相互理解	一人一人特有の感じ方、考え方、行動があることを認め合う
5.27	文化祭の準備	各HRごとに準備を進める
6.3	進路指導①	第1回進路の手引き説明
6.10	人間関係を耕す①	怒りのコントロール
6.17	小論文指導①	テキスト活用
6.24	外部講師活用	24・5HR・・・浜名湖えるだー倶楽部2名、21～3HR・・・小論文②
7.1	小論文指導②	21～3HR・・・浜名湖えるだー倶楽部2名、24・5HR・・・小論文②
7.15	ペン習字	ペン習字の説明
9.2	進路選択	選択科目の説明、夏期課題発表用原稿の作成
9.9	夏期課題の発表	進学、キャリアに分かれて発表会を実施
9.23	こころの講演会	助産師 御宿みほ先生の講演会
9.30	人間関係を耕す②	上手な断り方
10.7	小論文指導③	テキスト活用
10.21	小論文指導④	テキスト活用
10.28	小論文模試対策	リフレーミングを活用して長所短所に気づく
11.4	情報活用	いろいろな人が住むマンションの住人をグループで推理
11.18	進路指導②	各自の目標を立てる(進学:入試について 就職:内定状況)
1.13	人間関係を耕す③	人は「思い込み」で生きている(アサーション②)
1.20	進路指導③	作文「今自分に必要なこと」、自己PR文 or 履歴書の作成
1.27	プレゼンテーション	2分間スピーチの原稿作成
2.3	プレゼンテーション	2分間スピーチ(各HR)
2.10	人間関係を耕す④	苦手な人との付き合い方
2.17	進路指導④	進路別ガイダンス
2.24	進路講話	卒業生による講話(各HR)
3.18	インターンシップ	インターンシップ発表会

平成21年度 3年生総合 実施計画

実施日	テーマ	総合の内容
4.15	進路指導	自己PRについて (DVD「面接のための自分発見」視聴)
4.22	進路指導	面接のマナーについて (DVD「面接のための自分表現」視聴)
5.13	ソーシャルスキル	自己PRをまとめる (自分の長所・短所、友人から見た自分像)
5.27	進路指導	ライフプランと進路決定に対する考え方
6.3	湖風祭の準備	湖風祭の展示準備
6.10	進路指導 外部講師活用	求人票の見方 オープンキャンパスガイダンス【外部講師 (リクルート)】
6.17	進路指導	志望理由書の書き方①【外部講師 (学研) による講演】
6.24	進路指導	志望理由書の書き方③ (企業に対する動機、企業研究)
7.1	進路指導	履歴書の書き方/オープンキャンパスへの参加計画を立てる
9.2	進路指導	面接シート記入
9.9	進路指導	礼状の書き方/推薦・センター試験について
9.23	こころの講演会	助産師 御宿みほ先生の講演会
10.7	進路指導	就職活動を振り返って/進路先研究
10.21	外部講師活用	食生活講座
10.28	ソーシャルスキル	上手な断り方
11.4	情報モラル	情報モラル講座
11.18	ソーシャルスキル	アサーション
1.13	外部講師活用	テーブルマナー講座
1.20	外部講師活用	マナー講座
1.27		総合学習の振り返り

**「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」
連絡協議会委員名簿**

氏 名	所 属 ・ 職 名
戸田 昭直	浜松学院大学教授 キャリア・デベロップメント・アドバイザー
青木 清高	静岡県経営者協会・専務理事
川合 敏治(H19) 渥美 哲夫(H20, 21)	静岡労働局職業安定部・職業安定課長
鈴木 克周(H19) 漆畑 真理子(H20, 21)	静岡県産業部就業支援局・雇用推進室長
伊野口 仁一	県立熱海高等学校・校長
小林 滋紀	県立浜北西高等学校・校長
加藤 純男(H19) 河合 省二(H20, 21)	県立湖西高等学校・校長
原木 幹夫	県立熱海高等学校・教諭 (進路指導主事)
内山 善之	県立浜北西高等学校・教諭 (進路指導主事)
宇佐美 清光	県立湖西高等学校・教諭 (進路指導主事)

<参考文献>

- ・ 『「キャリア教育」資料集 平成 18 年度増補版』 国立教育政策研究所生徒指導センター
- ・ 『「キャリア教育」資料集 平成 20 年度増補版』 国立教育政策研究所生徒指導センター
- ・ 『小学校・中学校・高等学校「キャリア教育推進の手引き」』 文部科学省
- ・ 『高等学校におけるキャリア教育の推進に関する調査研究協力者会議報告書』 文部科学省
- ・ 『育てるカウンセリング全書「1 育てるカウンセリング」』 國分康孝 (図書文化)
- ・ 『育てるカウンセリング全書「6 進路指導と育てるカウンセリング」』 國分康孝 (図書文化)
- ・ 『エンカウンター』 國分康孝 (誠信書房)
- ・ 『パスカルタイム』 秋田県立雄物川高等学校
- ・ 『進路指導』 日本進路指導協会
- ・ 『キャリア教育プログラムの開発』 静岡県立松崎高校
- ・ 『学校設定科目「キャリアプランニング」』 静岡県立御殿場高校
- ・ 『「7つの力」を育てるキャリア教育』 諸富祥彦 (図書文化)
- ・ 『担任ができるコミュニケーション教育』 小林昭文 (ほんの森出版)
- ・ 『構成的グループエンカウンター』 第1, 6, 7 巻 國分康孝・國分久子監修 (テレマック)
- ・ 「キャリアガイダンス net」 リクルート

<表紙絵：進路指導支援班 作>

手前の青は駿河湾を、奥には富士山を描いて静岡県を表しています。工場は工業を、建物は商業ビジネスを、緑は茶畑で農林業を、青は水産業をイメージしています。

右側の手は労働者、左側の手は学生で、手を取り合って若い芽を育もうとしています。

高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究 報 告 書

平成 22 年 3 月発行

静岡県総合教育センター

【所在地】〒436-0294 静岡県掛川市富部 4 5 6

【電 話】人づくり支援課進路指導支援班 (0537)24-9772